



食事会の写真。
いただきものの日本食で息抜き。この日は、ポンデリング作りにも挑戦しました。

任地エウア隊員の紹介

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

今回は、任地エウア島に赴任している 3 名の隊員をご紹介します。皆同じオホヌア地区に住んでおり、各々の家は徒歩約 10 分圏内。週末は現状報告しながら、頻繁に食事会をしています。互いの悩みや楽しさを共有し合える大切な隊員仲間、日々活動に勤しむ隊員たちの活躍をご覧ください。

隊員①（職種：看護師）：生活習慣病クリニックに勤務し、NCDs 対策に努めます。主な活動は、週 2 回のクリニック運営と巡回型の健康教育やスクリーニング。島の人口約 5,000 人に対し、クリニックに通院する患者数は約 700 名。生活習慣病の正しい知識を身に付けてもらうため、日々活動に励みます。



現地のブレッドフルーツを使った隊員の創作料理。

隊員②（職種：小学校教育）：島内 6

校の小学校を巡回し、3-5年生にそろばんを指導。子どもたちは、日本から寄付されたそろばんを使って、学習に励んでいます。その学習成果を発揮する場として、年に一度、そろばんの地方および全国大会が行われます。大会前には放課後や休日も特訓を行うなど、パワフルな子どもたちとやる気に満ち溢れた先生方と共に、日々そろばんを弾いています。

隊員③（職種：日本語教育）：中等学校の選択教科の1つに日本語があり、現在は3学年5名の生徒を対象に、週に13コマ授業をしています。自身の担当授業以外には、同僚のトンガ人日本語教員の授業にも参加し、アドバイスをしながら、指導力向上を図ります。履修生は数少ないですが、習字教室やスピーチコンテストといった行事も交えつつ、各生徒のレベルにあった授業を行っています。

隊員の活動内容から、トンガには珠算や日本語教育の需要があることもご紹介できたかと思います。今年は日本開催のラグビーW杯もあり、トンガの人々の日本への関心は高まることでしょう。草の根外交官の別名を持つ協力隊、私も日本がもっとトンガで身近な国になるよう、日本のよさを伝えていきます。



ビーチへお出かけ。この日は生憎の曇りでしたが、誰もおらず、我々のプライベートビーチでした。